



〔管理者〕 鶴岡市 〔保全団体〕 田麦俣観光協会・鶴岡市・アルゴディア研究会

ポイント

柳清水は807年（大同二年）に弘法大師が開山した湯殿山の麓にある。この場所は、大師が昼食を摂り清水で喉を潤した際、箸として使った柳の小枝を泉のほとりに挿したところ、その小枝が柳の大木となったとする伝説がある。そして、街道を往来する旅人や湯殿山参詣者の喉を潤す泉の一つとして親しまれてきた。現在も田麦俣地区の重要な水源となっている。

六十里越街道はおよそ1200年前の昔から人の往来が絶えなかった。今では、自動車専用道路となった国道112号線にその役割を譲ってしまったが、湧水地点は新旧道路が交差する感慨深い場所である。



柳清水入口

アクセス (北緯38.574321°、東経139.919407°)

国道112号線山形方面から湯殿山料金所入り口手前の100m地点にあり、湯殿山IC入口の緑色の高速道路標識が目印である。湧水はその裏、放流口は左側にある。自動車専用道路のすぐ脇なので注意が必要である。

